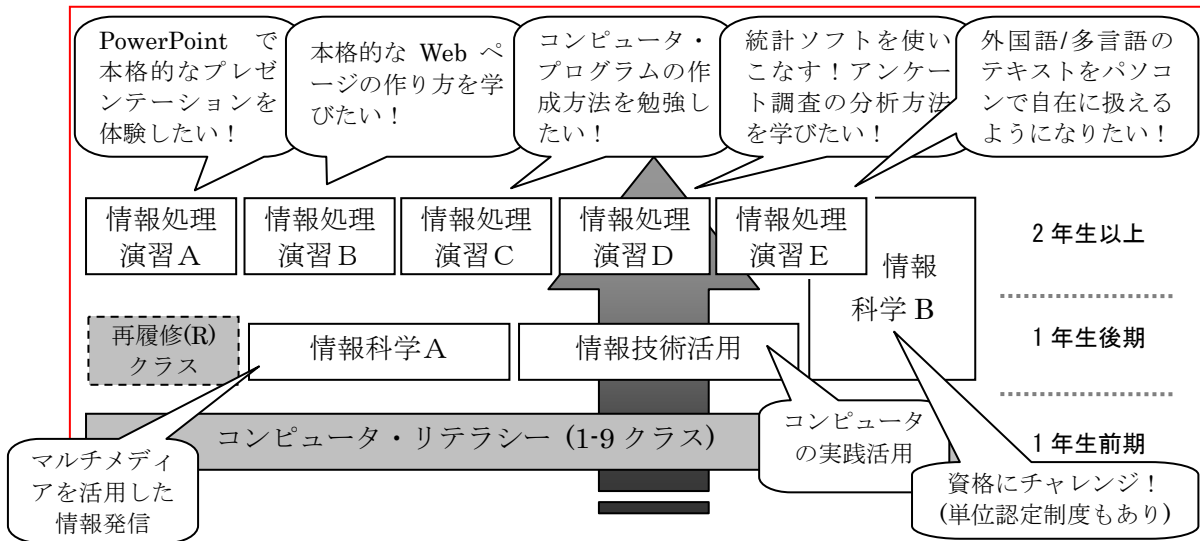


## 情報処理関連科目の履修について

※ この文書に関する質問は：千葉 (schiba@reitaku-u.ac.jp)・野瀬 (mnose@reitaku-u.ac.jp) まで

外国語学部では、コンピュータ・リテラシーのほかにも 5 つの演習科目を含む合計 8 科目 (16 単位) の情報処理関連科目が開講されています。



図：外国語学部情報処理関連科目の流れ

- コンピュータ・リテラシーは**必修科目**，他は原則として**選択科目**です (ただし、「言語・情報コミュニケーション」副専攻を選択する学生は「情報科学 B」が必修科目となります。)

表 1：外国語学部情報処理関連科目一覧

科目名	題目・内容	担当者 (2011 年度後期)
情報科学 A	デジタルデータの加工と情報発信を体験し、ノウハウを身につける (画像編集、プレゼンテーション、Web ページ作成)	笹原・佐藤・野瀬
情報技術活用	Office 系アプリケーションの活用トレーニング。ICT 能力を中核としたビジネスコミュニケーション力をのばす。	清水・野瀬・宮脇
情報科学 B	情報処理の資格試験取得。情報処理の知識とスキルを総合的に身につける。	千葉
情報処理演習 A	PowerPoint を使ったプレゼンテーション	野瀬
情報処理演習 B*	マルチメディアウェブページ作成	千葉
情報処理演習 C*	プログラミングの基礎 (C# 言語)	千葉
情報処理演習 D*	Excel と SPSS を使った統計分析の基礎	佐藤
情報処理演習 E	コンピュータと多言語処理	清水

\* 履修の前提条件あり。詳細は講義要綱を参照のこと。

- 平成 20 年度以降入学の学生さんは、卒業までに主専攻のほかに副専攻を一つ選択し、関連科目 (合計 24 単位) を卒業に必要な単位として取得します。多くの副専攻では、情報処理関連科目 (コンピュータ・リテラシーを除く) から **4 (ないし 8) 単位まで**，さらに「言語・情報コミュニケーション」副専攻は経済学部が開講しているデータベ-

ス関係の授業を含め**合計 14 単位まで**（うち「情報科学B」2 単位は必修）を副専攻科目とすることができます。これからも情報処理関連科目を積極的に履修しましょう！

- 一年次後期には、コンピュータ・リテラシーに続く科目として「**情報科学 A**」「**情報技術活用**」「**情報科学 B**」の 3 科目が履修できます。一度に全ての科目を履修することも可能ですし、1 年次に取らなかった科目を 2 年次以降に履修することもできます(3 科目とも、前期・後期の両学期に開講しています)。
  - **【重要】**1 年次生の「情報科学 A」「情報技術活用」(概要は表 2 を参照)の履修については**履修希望調査を実施してクラスを決定します**。コンピュータ・リテラシー 期末試験の時に希望を回答してもらい、それに基づいて後期授業開始前に**クラス分けを発表**します(追加を希望する場合は後期になってから教務課に申し出ます(ただし追加登録できるのは空きがあるクラスのみ))。まず、**これら 2 つの科目のうち、少なくとも一方を 1 年次後期に履修しておくことをおすすめ**します。

表 2 : 「情報科学 A」「情報技術活用」の授業内容

「情報科学 A」	「情報技術活用」
オリジナルな課題の制作をおこなう発信型の授業です。課題の企画・取材(情報収集)・コンテンツ作成・公開(発表)を通じ、パソコンやネットワークの実践的な利用方法とともに、情報発信の技術と注意点を学びます。	Word, Excel, PowerPoint などの主要ソフトウェアを徹底活用するトレーニングをおこないます。ICT(情報通信技術)の活用力を強化しビジネスで使えるコミュニケーション力を育成します。
<ul style="list-style-type: none"> <li>● グラフィックデータの加工。</li> <li>● PowerPoint を使ったプレゼンテーション(企画・立案から発表まで行います)。</li> <li>● 情報の発信にあたって必要となる、著作権と関連する権利の基礎知識の習得。</li> <li>● Web ページの仕組み, HTML の書き方, 画像を使った Web ページの作成, FTP による Web ページの公開(オリジナルな Web ページを制作し, 公開します)。</li> <li>● Excel を使った実践的なデータの作成, 加工と分析。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 具体的な活用場面を想定した Office 系アプリケーション Word, Excel, PowerPoint の実践。</li> <li>● ビジネスコミュニケーション力の中心をなす論理構成力や分析力, 視覚に訴える表現力の強化。</li> <li>● 情報検索や情報セキュリティ, データベース活用の基礎知識の習得。</li> <li>● 情報活用力診断テスト「Rasti」の受験を通じた, 自身の情報活用力の長所と短所の把握と, 重点学習計画の立案・実践。</li> </ul>

- 「情報科学 B」は資格試験である「パソコン検定」3 級・準 2 級の取得を念頭に、情報通信技術(ICT)の中級レベルの知識や技術を身につけます。第 1 回授業で履修者を決定します(希望者が多い場合は履修制限をおこないます)。なお、「情報科学 B」は「言語・情報コミュニケーション」副専攻の必修科目となっています。
- 「パソコン検定」準 2 級・2 級合格者には単位認定制度があります。このうち**準 2 級**では「情報科学 B」の単位が認定されます。パソコン検定は学内で定期的に団体試験が実施されますので、日程を確認しぜひ参加してください。
- 情報関係の自主企画ゼミナールの提案は随時受けつけています。その他、授業の履修など、分からないことがあれば外国語学部の専任教員まで気軽に質問してください。  
e-mail: schiba@reitaku-u.ac.jp (千葉), mnose@reitaku-u.ac.jp (野瀬) (以上)